

2019.1

Vol.025

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター
働きませんか、健康で、たのしく

ぎずな



<新春対談>

五十嵐市長と宇都宮理事長

上半期事業報告

災害から身をまもる

〈新春対談〉

——高齢者の活躍に期待する——

対談

五十嵐市長・宇都宮理事長

〈司会〉 あけましておめでとうござい
ます。日頃から多大なご協力とご支援
を賜り、厚くお礼申し上げます。それ
ではよろしくお願い致します。

〈宇都宮理事長〉 シルバーは現在、就
業対策に力を入れております。シル
バーに登録しながらこの5年間就業に
つかなかった未就業会員75名に対し、
個別訪問をして就業しなかった理由な
どを調査して就業の拡大に生かしてい
く予定です。

〈五十嵐市長〉 結果がまとまりました
ら教えて下さい。シルバーの会員は何
名ぐらいいて就業の状況はどのよう
になっておりますか。

〈理事長〉 調査中ですがセンターに登
録しながら仕事についている人が多い
ことなどが分かってきました。現在、
センターの会員は697名で、最新新
たに加入する人が増え間もなく700
人を超えると思います。

〈市長〉 そんなにたくさんいるので
すか。業務では草刈りの作業が多いで

か。

〈理事長〉 草刈り作業が多く、予約待
ちでの状態で「すけっと君」事業の要
員を活用しております。人と道具が必
要な作業で、作業機や共有自動車など
の保管場所も今鹿島の一箇所でその管
理や運用面で難しさがある中で市民の
要望に沿うよう努力しております。

〈市長〉 女性がいると活動が活発にな
りますが、女性会員の割合はどのくら
いですか。

〈理事長〉 約3割ぐらいです。草履や



市長への表敬訪問

小物の作品を作成し、市内の小学校に
巾着袋などを逐次寄附する活動を行
い、子供さんに喜ばれ、女性の活躍が
目立つようになっております。

〈市長〉 私も『つくばまつり2018』
で草履を購入し、妻が喜んではい
います。これからは高齢者がサービ
スを受ける立場から若い人たちの代わり
としてサービスの担い手となり、地域社
会に貢献することを期待しておりま
す。

〈理事長〉 会員の構成年齢が若干上がつ
ておりますが、60歳代の入会も増え期
待に込えられると思います。

〈市長〉 受け身にならないで積極的に
事業を進めて下さい。自転車事業や子
育て事業もいい活動で市民の皆さんに
心づかいが伝わっております。市から
もフェースブックなどを通じてシル
バーの活躍を流すなど応援致します。
これからも地域で活動する場が増える
と思います。地域のためにシルバーの
エネルギーと時間を活用するよう願
っています。

〈理事長〉 これからも地域のために頑
張ります。本日はお忙しい中時間を割
いて頂きありがとうございます。今
後ともよろしくお願い致します。

〈宇都宮理事長インタビュー〉

〈就労支援〉

まだまだ働きたいと願うシルバー世代の人々が生きがいを感じるためには、まず就業の確保があり、それを支援するのがセンターの役割であると思われまます。これについて、宇都宮理事長の考えをうかがいました。

〈就業問題について、まず着手されたのが未就業者調査ですがそれはなぜですか？〉

理事会には就業開拓委員会というのが従来からあって、ひきつづき委員会の方々に企業などへの働きかけをお願いするつもりです。さて今年の全国シルバー人材センター連合会では、全国的に減少傾向にある会員の増加を重要課題として打ち出しています。茨城県も同様ですが、つくば市は微増とはいえ、センターを辞めていく会員もおられます。未就業者だけでなく、長期就業者にもその傾向が見られます。長期の仕事が終わるころには、年齢も上がっているし、次の仕事があるとは限りません。

そこで平成25～29年に入会はしたが未就業の会員75人の実態把握のために、みなさんを訪問中です。調査結果

はまとめて今後の対策に役立てるつもりです。現状では次のようなことがわかりました。

センター以外の臨時的な仕事にも携わっている未就業会員が意外に多く、そちらの仕事を優先しているようでした。お会いしたみなさんの大半は、健康が第一と思っていることです。それに一人でいるよりは、シルバーのような集まりに参加して、顔見知りになることを期待している方たちが少なくなっているのではないのでしょうか。

未就業会員のみなさんは、どうぞご遠慮なくセンター事務局へご相談ください！

〈就業開拓作業の具体的開始はいつですか？〉

当面の未就業調査を終えてから就業開拓活動に入る予定で、従来のお客さまへの訪問を考えています。仕事はより好みをしなければあります！女性会員向けの清掃関係の仕事も少なくありません。もちろんその人に適不適とか危険性の有無などは考えてお決めになればよいでしょう。

〈余暇の時間の利用〉

入会された方は就業だけでなく、会員同士の交流、仲間づくりにも期待をもっておられると思います。当セン

ターは公益法人の為、金額面では助成できませんが地区活動の一つとして自主運営を基本にサークル活動などをお願いしています。これをもっと大きくする事が課題としてあります。

理事長・事務局長あいさつ

会員のみなさま明けましておめでとうございます。旧年中は、事務局の運営等に一方ならぬご協力とご支援をいただきありがとうございます。本年も引き続きご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

さて、今年の干支は十二番目の「亥年」ですね。この亥の本来の読みは「がい」と（ざす）を意味し、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表しているとき、次のステージに向けた準備の年ともいわれています。まさに平成に別れを告げ、新しい時代に向け羽ばたく年にふさわしい干支といえます。また、「亥年」は、猪肉の栄養価が高く病氣予防になることから、無病息災の象徴とされています。会員のみなさまにおかれましても、日々の健康に留意し更なる飛躍に向けて活動されますことを祈念して、新年のあいさつといたします。

事故多発を憂う

今年度は事故が多発しています。それも比較的大きな事故で損害賠償金の支払い額も従来に増して多額になっております。表で示したようにこれまでも事故数は決して少なくない中で、今年はまだ半年しか経過していないのに突出しています。

以前から剪定・草刈り作業での事故が多く、安全に対する各種教育講座や講習などで安全の喚起に力を入れていながらもかわらず一向に減っていません。とくに今年度は重篤な傷害事故が多くセンターは、対応に苦慮しています。剪定・草刈り作業での事故は足や指の切傷・切断、高い所からの落下、飛び石による物損などで大きな損傷や損害につながります。剪定・草刈り班の高齢化が進む中で、事故は慣れや注意の散漫によって生じます。「自分は大丈夫」、「これくらいなら」といった慢心は許されません。

作業は何より安全が最優先事項、『決められたことを守る』、『自分や班からは事故を出さない』、『事故は恥』、『確認の励行』の強い決意をもって行うことが求められます。

つくば市シルバー人材センター事故発生状況¹⁾ (単位：件)

年度	賠償責任事故					合計
	傷害事故		物損事故		その他	
	剪定・草刈	交通事故・蜂	剪定・草刈	交通事故	その他	
23	2	1	6 (3) ⁵⁾	3	1	13
24	2	1	3 (2)		2	6
25	4	1 (1) ⁴⁾	5 (5)		1	11
26	2		3 (3)		1	6
27	3		6 (6)		1	10
28	4	4	2 (2)	2	3	15
29	3	1	3 (1)	1	4	12
30	5		3 (2)	3 ³⁾	3	14 ²⁾

¹⁾ 各年次総会資料より抜粋、²⁾ 平成30年度は10月までの件数、³⁾ 2件は賠償責任なし、⁴⁾ () 内はハチ刺され事故、⁵⁾ () 内は飛び石による物損事故

高木の剪定は4m以下と決定！

県シ連（茨城県シルバー人材センター連合会）から、高木の剪定は4m以下または12尺のはしご使用が望ましいとの通達がありました。これを受けセンターも安全委員会、事業部会において近隣の人材センターの対応状況を調査しました。この結果、多くの人材センターが通達を受け入れる方向であり、つくばセンターも11月の理事会で4m以下にすることに決定いたしました。すでに請け負った剪定作業もあり、この実施は12月1日以降の受注から行うことになりました。これによって依頼される剪定作業の減少も懸念されますが、安全性の視点から現場において「高木の剪定は4m以下、12尺のはしご使用」の順守の徹底を進めます。

襖・障子張りの現況

襖・障子張りは植木の剪定、草取りとともにシルバー事業の草分けです。現在この事業に従事している寺島さんを今鹿島の作業場に訪ね現状を聞きましました。

作業場は廃園になった幼稚園の教室



襖張り中の寺島さん

を利用し、寺島さんは襖張り替え作業、もう一人の会員久保田さんは障子張り作業をしていました。寺島さんはシルバー人材センターへ平成11年の入会以来、長く家のリフォーム事業に従事していましたが年齢的に仕事が見つかり、7年前からこの事業に参加しています。当時は4名が従事していましたが、やめた会員の補充がなかなか難しく、事業が継続するかが悩みの種の一つでした。

昨今、畳や襖、障子がない家が増えて来ていますが、仕事は十分にあるとことで、リピーターも多く、作業場にはたくさんのお客さんの受注票がありました。これもお客様からの要望に答えられる技術と信頼があつたの事と思われます。寺島さんは修理が好きで、健康で働け、喜んでくれるお客さんの顔を見

るのが楽しく、稼ぎは二の次との事！襖に新しい紙を張り素手で表面を柔らかに触れて仕上がり具合を確認する作業が印象的で、技術の高さと職人魂を感じ取れました。何とか多くの後継者が現れ、長期的な視野で技術を習得してもらい、この事業が継続することを願うばかりです。

〈センター事業実績報告〉

平成30年度も上半期が終わりました。シルバーの運営状況について概況を報告いたします。上半期における受注件数、就業人員などすべての面で29年度と比較して、大幅な減少になりました。この原因としては、6月下旬の梅雨明け、7月、8月の猛暑などの異常気象がつづき、日照下で作業を行う剪

平成30年度4月～9月までの就業状況

年度	会員数			受注件数	就業延人員	契約金額	就業率
	男	女	合計				
30	503	184	682	2,491	23,610	146,944	63.3
29	474	168	642	2,814	29,014	173,471	73.5

平成30年度4月～9月までの受注状況

受注先	種別	30年度実績	29年度実績
公共	件数	382	392
	金額	43,295	43,658
民間	件数	448	538
	金額	56,564	78,364
一般家庭	件数	1,649	1,872
	金額	40,330	45,976
独自事業	件数	12	12
	金額	6,755	5,472
合計	件数	2,491	2,814
	金額	146,944	173,471

定、草刈り班で熱中症対策で作業を中止する日が多く、作業スケジュールが遅れが生じて、作業の依頼を断った結果と思われます。しかし、9月10日に入り天候の回復とともに、剪定や草刈り班の作業も順調に進んで作業実績も回復しており、最終的には前年度並みに落ち着くことを期待したいところで。なお、荏苒地区でも襖・障子張り替事業を行っております。

〈災害への備え〉 災害から身を守る

ご存知ですか？今後30年以内に茨城県周辺で発生が予測され大被害が懸念されている自然災害が地震です。発生確率は、マグニチュード（M）6・9～7・6クラスの地震が70%、繰り返し発生するプレート型地震M6・7～7・2クラスが90%以上、また三陸沖、福島県沖、房総沖などの地震発生が不安材料です。さらに相模トラフ沿いにM7規模の地震発生確率が70%と予測されていますし、この他に関東周辺の断層も無視できない存在です。最近の異常気象が原因ではないかと推測される豪雨や竜巻などによる自然災害の発生頻度も高まっております。

高齢者の多いセンター会員も、家庭のみならず就業中でも、不意の災害に遭遇するかもしれません。人命にかかわる身近な問題である防災について、市の防災計画の要である市長公室危機管理課危機管理係登坂美彦係長と鈴木誉幸主任に伺いました。

洪水や浸水などが想定できる災害については、市ではハザードマップ（被

害予想地図）を作成して全戸や職場に配布しています。地震は、発生が極めて予測し難く、具体的な対応策を取りにくいのが現状ですが、各家庭で食料や水の備蓄をいつも心がけたり、タンクや本棚の壁固定など個々のレベルでの対応が求められます。防災無線は一部の地域で使用されていますが、豪雨や暴風時には聞き取れないと指摘されています。大切なことは、情報を的確に早く入手することです。そのために緊急災害時の情報発信は、各個人の携帯やスマホ、ラジオ（茨城放送AM/FM）が強力な手段となっています。意外に知られていませんがみなさんにぜひ知っていただきたい方法があり、テレビの「d」ボタンを操作すれば、市内全域の災害情報や予測情報などを常時詳しく見ることができるとのことでした。市としては、多くの市民の方々に防災説明会などを通じて、常日頃から自らが防災に備える「自助」の認識が最も重要で、災害時には隣近所や自治会などによる「共助」、市による「公助」が加わることで、災害への備えの基本としたいそうです。

さてセンター会員がそれぞれの就業先で災害に直面した場合、あわてずに

まずみの安全を図り、スマホや携帯の緊急情報や、周囲の人たちからの情報やアドバイスにより行動することになります。緊急時にはありますが、行動前に一旦立ち止まって状況を見定めることも必要でしょう。経験を生かして「共助」にも参加し、シルバーの人がいて助かったと言われるような行動が望まれます。

コラム主張

「働きたくなる環境づくり」

シルバー人材センターの主力はいまや70歳以上を占めるのが現状です。そこで、高齢者という従来の考えから一歩踏み出して、現役時代の経験や知識、技術を活かせる仕事とか、女性ならではの仕事など、「高齢者」が労働者としてまだまだお役に立っている場所があるはずです。これからのセンターの課題として新たな人生での就労ができる環境づくりに取り組む必要があると思います。



ランタンフェスタ2018

草刈技能実技講習会が実施された

10月下旬、皆畑公園で今年度の草刈技能実技講習会が午前、午後の2回実施されました。霧雨の降る寒い中Aランク53名（内審査委員10名を含む）と、実技検定受験者16名が出席しました。技能講習会では肩掛け草刈り機の保守点検の方法と草刈り作業での適切な取扱い、さらにケガや石や金属などの異物の飛散事故防止対策について説明がありました。

技能講習の後、実技検定試験が行われ、検定審査員が見守る中を、16名の



草刈り技能実技講習会の様子

受験者がテープで囲った一定の面積の雑草を肩掛け草刈り機で刈り払う試験を受けました。技能検定は草刈り機の扱い、雑草がきれいに刈り取りとられているか、作業の進行状況などからAランク、Bランクへの合否が判定されます。受験者は真剣な面持ちで草刈り作業を行い、技能審査結果は1〜2ヶ月後に発表されます。

折しも高木の剪定は4m以下と決まり、さらに草刈り作業におけるケガや物損の損傷事故の発生が報告されています。どのような規則、決まりを作り、安全講習会を実施しても作業現場で遵守されなければ「絵に描いた餅」、みなで安全作業を心掛け、『安全第一、事故ゼロ』を目指して進めてもらいたい。

すてきな手作り作品を販売中!

女性活躍委員会は、女性会員有志によるいろいろな手作り作品を、各種イベントで販売したり、市内の幼稚園や小学校に寄附する活動を支援しています。また、大穂庁舎3階に開設された「交流サロン」で、定期的に各種サークルを開き、作品の制作や会員の交流を積極的に行っています。

今回はみなさんが制作した素晴らしい作品の中から、これから寒くなる冬の立ち仕事や外出時の着用に最適な「毛糸のソックス」を紹介します。履き心地、色合いもよく、触るだけでふっくらと温かく、自分で履いてもどなたかにプレゼントしても喜ばれる作品です。このほかに帽子や手袋なども品ぞろえしております。購入ご希望の方は、☎090-1125-9023成島さんまでお問い合わせください。お待ちしております。



女性会員による手作り作品

〈歴史に学ぶ責任とは〉

昨年8月に放映されたNHKのドキュメンタリーTV番組「ノモンハン 責任なき戦い」が、満州引揚者の筆者の目には極めて印象的に映りました。この戦いとは、1939年5月から、当時旧満州国（現中国東北部）を支配していた日本の関東軍と、ソ連・モンゴル軍が国境地帯で武力衝突し、ソ・モ軍の優勢な機械化部隊の前に日本軍が大敗した「ノモンハン事変」のことです。事変は関東軍参謀の独走によるものと言われていますが、事変後、肝心の日本軍の幹部たちは、敗戦の責任を現場指揮官に押しつけ、自決まで強要した背景があります。無念の思いの遺族には納得がいかなかったでしょう。戦後日本国内で行われた旧陸軍参謀たちへのインタビューによる録音では、他人事のように話す参謀たちの声が、無責任の極みに聞こえました。この事変の経験が生かされることなく、日本は太平洋戦争に突入していったのです。

表紙の説明

日々発展をとげる研究学園都市とめづらしい蘭2点

ご案内

入会説明会を次の通り行います。入会を希望される方は直接会場にお越し下さい。

お問い合わせは、電話で受け付けております。ホームページにも掲載しております。

開催日	時間	会場
31年 2月 7日(木)	13時30分	筑波交流センター
2月 14日(木)	13時30分	大穂庁舎
3月 7日(木)	13時30分	桜総合体育館
3月 12日(火)	13時30分	市民ホールやたべ
3月 14日(木)	13時30分	大穂庁舎

雑感 健康

健康診断で糖尿病と分かり、7月初旬から2種類の糖尿病治療薬を飲み、2ヶ月後血糖値は順調に下がりました。

その頃から腰痛が始まり、整形外科で座骨神経痛と診断、痛み止め、最後は座薬、それでも下肢全体が痛く、5秒と同じ姿勢でいられず、横にも眠ることもできず、10日間ほど一晩中家の中を歩き回っていました。9日目頃、整骨院でこれは座骨神経痛ではないと内科医を紹介、病院の血液検査で糖尿病治療薬の副作用で筋肉の細胞を融解する成分が出て

いることが分かりました。もう体は限界、その晩から激痛、朝方救急車でM病院へ、点滴で鎮痛後、明日はG病院の耳鼻咽喉科に行くよう指示され、翌日、診察で即入院、極度のストレスによる顔面神経痛、目や口が歪み、水もまともに飲めなくなり、10日間の入院、連日インスリン注射とステロイドの点滴、入院初日から爆睡3日、看護師さんもあきれていました。退院、顔の歪みも1ヶ月で治癒し、通常の生活に戻りました。

ここで一言、医者にかかっていて薬が効かない、痛さが収まらないような場合には思い切って医者を変え、セカンドオピニオンを受けるのも大事、高齢に伴いいろいろな病気が起き、薬の種類や量も多くなります、おかしいと感じたら別の医者に行ってみてはいかがでしょう。

◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしています。些少ではありますが執筆謝礼をご用意いたします。